この学校では、こんな学びが始まる

# 大阪わかばから始まる、多文化共生の新しい学び

多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保

**大阪府立大阪わかば高等学校**

定時制／普通科

## この改革が必要な背景

- 大阪府では、**国際観光拠点の形成**や**外国人材との共生**に向けた環境整備を推進
- 2040年には、国際会議の誘致や観光サービスを担う**観光人材が約3.1～5.3万人不足**する見込み
- **多文化共生社会を支える人材育成**と、**日本語指導が必要な生徒への支援体制の充実**が必要

## 事業概要（学びの変化）

### 多様な背景を持つ生徒の学びを支える

- ✓ **日本語指導が必要な生徒**をはじめ、**不登校**や**障害のある生徒**など、**生徒の多様なニーズ**に応じた学びを支える教育環境を整備
- ✓ 学校生活への適応から学習支援まで、**多面的なサポート**を行う

### 「地域連携推進・多言語教育支援室」を核とした支援体制

- ✓ 校内に**「地域連携推進・多言語教育支援室」**を設け、全生徒の個別相談対応や学習支援を実施
- ✓ **地域連携の核**として、**大阪大学等の大学、大阪市生野区等の行政、地域企業やNPO**とつながり、学校単独では困難な**切れ目のない地域支援体制を構築**
- ✓ 放課後や長期休業中には、**日本語能力試験（JLPT）の取得や基礎学力定着**、**大学進学をめざす個別学習**支援を受ける
- ✓ **観光産業等の企業とのインターンシップ**や**就労体験**を通して、**進路選択を伴走支援**



### 将来の夢や進路に合わせて学べる

- ✓ 単位制の特色を活かし、**観光産業**や**多文化共生社会**での活躍など、**生徒の興味・関心や進路希望に応じた科目群**を設定
- ✓ 「ことばの発達と習得のものさし」を用いて、日本語や母語を含めた**ことばの力や学習状況を丁寧に把握**
- ✓ **新たに開発**する**日本語能力のアセスメントや指導を支援する生成AI**や**多言語指導資料プラットフォーム**も活用し、日本語能力や学習状況に応じた個別最適な学習支援を実現



### 大阪府全体を支える日本語指導拠点

- ✓ **日本語指導が必要な生徒を受け入れる高校へオンライン等による支援**を実施
- ✓ 巡回相談や研修、指導教材・ワークシート等のデータベース化を通じて域内に**指導ノウハウを共有**
- ✓ 本校が拠点となり、どの高校でも質の高い日本語指導を受けられる環境を整備

### ＜生徒の１日の流れ（例）※普通科２年Aさん・教員Bさん＞

【9:00 生徒・教員】
講義と協働学習を組み合わせた「やさしい日本語・言語文化」の授業を実施

【11:00 教員】
地域連携推進・多言語教育支援室において、地域や企業との連携に向けた打合せを実施



【13:30 生徒】
「グローバル経済」において、観光産業や国際社会の動向を学ぶ

【14:30 教員】
授業動画や学生生活に必要な日本語教材などを制作・配信する

【15:30生徒・教員】
教員と母語で対話しながら学習や進路を相談する

**高校生の未来の姿（指標の例）**

| | (現状) | | (R10) | | (R13) |
|---|---|---|---|---|---|
| ・観光分野への進学・就職者数 | 2人 | ⇒ | 10人 | ⇒ | 30人 |
| ・外国語系学部の大学進学者数 | 6人 | ⇒ | 12人 | ⇒ | 18人 |



**他校への普及方策**

先導拠点校と協力校による重層的な支援ネットワークを構築し、専門支援員による巡回相談・オンライン相談・来校相談を行う　等

**主な連携機関**

大阪市生野区、大阪大学、地域企業（多文化共生キャリア教育協力企業）、NPO法人 等

（出典）都道府県の提出書類及び生成AIにより作成した画像をもとに文部科学省において作成

類型3